

とよたち

美肌通信

7月号



Vol. 12

開業して今月で12ヶ月目、8月には一周年を迎えることができます。迷走しながらも何とか持ちこたえられたのは、ひとえに当クリニックをご利用頂いている患者様あってのことと存じます。

今後も皆様に来院に頂ける価値を備えたクリニックづくりをして参りますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。その為には私は患者様に選んで頂ける存在になる様、当クリニックで働く全ての医療従事者がやる気(向学心・情熱)と誇り(仕事に対する)を持ち、常に考え、行重かに置換しなければならないと思い、更に院長(経営者)と看護師(職員)・事務(職員)が「一体化」し、その上で患者様をお迎えしなければいけない、という思いから、開業以来待合室に掲げている「職員心得」と「職員信条」に基づき行重かに参りました。しかし当然現実には甘くなく、多岐にわたる問題が連日の様に発生しました。明日の外来をどう切り盛りしたらよいかという所

ま^じで考えたこともあり^ました。しか^しそんな私の暮え
そんな気持ちに喝を入れてくれた言葉がありました。
「問題は自分が大きくしているだけ。問題解決
の極意は「問題ではないと思うこと、にある」。
という言葉です。これを見た時 確^かがに^に！と
受け入れた感があると同時にやる気があふれてき
ました。「どんな問題でも大した事はない。大変
だと思ふ事が余裕を無くしマイナスの方向に傾
くこととなるのだ」。ところが心に余裕を持てば、
いいえ最初は心に余裕がある振りだけでも良い
ので そうするのです。そうすれば、きっとこうなるは
ずです。例えばある問題が提示されたとします。
その報告を余裕を持って聞くことができれば、
「余裕の会話」になり「余裕ある行動」につながる。
そうすれば人間の器も大きくし魅力を高める
ことになるはず^です。だって先月号でも書きまし
たが 神様が与える「試練」とは、その人が乗り
越えられるか否かギリギリのラインまでしか

③
与えられたいのですから。だったら乗り越えてやろう
じゃないですか、この壁を!!

その先には 今まで見たことのない景色が待っている
のですから。それを見てやろう。そう思うとワクワク
してきます。あれー こう考えられるだけ 心と皮
剥けて 既に「心の余裕」ができてきている自分に気
付かされます。

先日テレビを見ていたら「若年性痴呆」の患者様
とその妻(夫を献身的に介護する)の生活を特集
していました。50才代にして 日々悪化進行していく
痴呆症状の夫を支える 婦人が自らに言い聞か
せるが如く「大した事じゃない。大した事じゃない」
と自らに言い聞かせるかの様に言っている姿を見て
立派だなーと 前述した 問題解決の極意と
オーバーラップしました。

さて来月はいよいよ一周年になります。

初心に帰り、自らを振り返り、反省し、見直すべき
点は改善し患者様に「来て良かった」と思われる様
精進して参る所存です。宜しくお願ひ申し上げます。

<とよ・たち最新治療法>のコーナー

 **瓜水虫**：今まではのみ薬をメインにして治療を行うのが一般的でした。

しかし今アメリカでは瓜水虫をレーザーで治療することが流行しており、その交力果は各紙(論文)にも多く発表されています。

★ 適応患者様：①水虫のみ薬が飲めない方。

②のみ薬をのみたくな方。

③のみ薬をのんたが交力果が左めた方。

当クリニックではこの最新治療が可能です。
一度御相談下さい。

院長・刀川 拝